PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

2001222597 A

(43) Date of publication of application: 17.08.2001

(51) Int. Cl G06F 17/60

G06F 19/00, G06F 17/30

(21) Application number: 2000030458 (22) Date of filing: 08.02.2000 (71) Applicant: MITANI SANGYO CO LTD
(72) Inventor: TOKUDA MASATO

rank table and employee-by-employee and company-

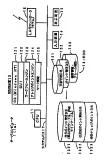
(54) ENTERPRISE INFORMATION REGISTRATION APPLICATION PROMOTION SYSTEM AND ITS METHOD AND RECORDING MEDIUM WITH PROGRAMMED THE METHOD RECORDED THEREIN

by-company point accumulation files. COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an enterprise information registration application promotion system which can be applied to the incentive or personnel evaluation.

SOLUTION: A point is added to an information inputting action of an employee an also the points are
added to the quantity, the quality and the degree of
application of the information offered from the employee. Meanwhile, the change of cumulative points
are monitored in each category of information or for
every employee for analyzing the accumulation degree
of information. Thus, the motivation is improved to
each information strategy and the information serving as a personal know-how can be used as an enterprise knowledge. In order to attain this function,
a knowledge point engine 124 is added to a client
server system 10 for configuring a point management
DE 132 consisting of a weighting table, an evaluation



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開2001-222597

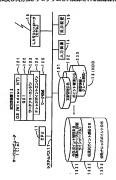
(P2001-222597A) (43)公開日 平成13年8月17日(2001, 8, 17)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テーヤコード(参考)
G06F 17/60		G06F 15/21	Z 5B049
19/00	ı	15/22	N 5B075
17/30	ı		310G
		15/40	3 1 0 F
			3 7 0 Z
		審査請求 有	前求項の数16 OL (全 15 頁)
(21)出願番号	特膜2000-30458(12000-30458)	(71) 出題人 39402	
			蜜業株式会社
(22)出顧日	平成12年2月8日(2000.2.8)		県金沢市玉川町1番5号
			正人
			県金沢市玉川町1番5号 三谷産業株 は中
		式会 (74)代理人 10008	
		开堰:	土 瀬野 秀雄 (外1名)
			最終質に続く

(54) [発明の名称] 企業内情報登録活用促進システムならびに方法及び同方法がプログラムされ記録される記録媒体

(57) 【要約】

【疑題】 インセンティブや人事評価に活用できる、企業内情報金銭活用促進システムを提供する。 【解決年段】 社員が情報人力する行為にポイントを加 算することはもとより、社員が提供する情報の監や質、 活用度によって更なる評価ポイントを加算する。また、企業の訓職資産を審雑すると共に、情報のジャンル、も しくは社員等、累積ポイントの推移をモニタして情報書 機の後合いを分析することで、個々の情報取結に対する モデベーションの向上をはかり、個人のノウハウとさん いた情報を全機の知識に築ることができる。この他 能を提供するためにクライアントサーバシステム 1 Oに ナレッジポイントエンジン 1 2 4 を搭載し、窓内付けテ ーブル、評価ランクテーブル、社員別、金社別ポイント 累計ファイルから成るポイント管理 DB (132)を携 能した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 業務に関連する企業内情報を蓄積し、その情報を共有する情報共有システムに使用される情報登録活用促進方法であって、

前記情報の登録行為に対し、その登録社員に任意のポイントを付与すると共に、

前記登録の結果生成される文書を他の者が活用したとき、前記活用された文書の登録社員に、当該活用社員に

よる評価が反映されたポイントを付与し、 前記情報のジャンル、もしくは社員毎、累積ポイントの

推移をモニタして前記情報蓄積の度合いを分析すること を特徴とする企業内情報登録活用促進方法。

[請求項2] 前記登録者毎の果積ポイントを集計し、 期間別、もしくは情報のジャンル別に照会することを特 数とする請求項1に記載の企業内情報登録活用促進方 注

【請求項3】 前記活用者にも活用した時点で相当のポイントを付与することを特徴とする請求項1に記載の企業内債報登録活用促進方法。

【額求項4】 前記活用時に付与されるポイントは、あ らかじめ定義された評価基準に従い、活用者が重み付け 設定することによって付与することを特徴とする請求項 1に記載の情報登録活用促進方法。

[請求項5] 業務に関連する情報を書積してデータベ ース化し、その情報を共有するサーバクライアントシステムにおいて、

が記サーバは、前記クライアントによる情報の登録行為 に対し、その登録者に任意のポイントを付与する第1の ポイント付与手段と、

前記登録の結果生成される文書を他のクライアントが活 用したとき、前記活用された文書の登録者に、当該活用 者による評価が反映されたポイントを付与する

第2のポイント付与手段と、前記情報のジャンルもしく はクライアント毎、果積ポイントの推移をモニタして前 記情報蓄積の度合いを分析し、要求のあったクライアン トに提供するポイント情報提供手段と、を備えて成るこ とを特徴とする企業内情報登録圧用促進システム。

[請求項6] 前配第 1、第2のポイント付与手段は、 あらかじめ、分類毎に内容を定義したそれぞれにポイン トを規定し、更にそのポイント集計先を規定したポイン ト管理テーブルを持つことを特徴とする請求項5に記載 の企業内情報登録活用促進システム。

【請求項7】 前記第2のポイント付与手段により活用 社員による評価が反映されたポイントが付与される都定 更新され、間襲策末があったときにその活用履歴を公開 する原用履歴データベースを構えて成ることを特徴とす る誘環項目に影響の企業的情報診肝限度塗シスー 【請求項8】 前記サーバは、ジャンルもしくはクライ アントをキーとして集計所、獲得ポイントをデータとし で持ち、閲覧業来のあったクライアントに提供すると ント累計データベースを持つことを特徴とする請求項5 に記載の企業内情報登録活用促進システム。

[請求項9] 業務に関連する情報を蓄積し、その情報 を共有するクライアントサーバシステムに用いられ、 クライアントによって登録される情報を文書 DBに登録 するステップと、

あらかじめポイント管理テーブルに規定されたポイント を参照することによって参録者に数当するポイントを付 与し、ポイント獲得の都度そのポイントを累計加算する ステップト。

前記登録文書を更新するステップと、

前配登録文書に関し、活用のために検索語を入力することによって情報検索を行うステップと、

前記情報検索の結果、活用したい文書を抽出して閲覧表示するステップと、

前記閲覧表示した文書をあらかじめ定義される評価基準 に従って評価入力し、少なくともその文書の登録者に前 記ポイント管理テーブルに従うポイントを付与するステ ップと、がプログラムされ記録されるコンピュータ読み 取り可能な記録媒体。

【請來項10】 前記評価入力した活用者にもポイント を付与し、このポイント獲得の都度加算してポイントを 環積するステップが更にプログラムされ記録される請求 項9に記載のコンピュータ読み取り可能な記録雑体。

【請求項11】 前記評価入力の都度活用履歴DBを更 新し、閲覧要求があったときにその活用履歴を公開する ステップが更にプログラムされ記録される請求項9に記 載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[請求項12] あらかじめ、分類物内容を定義したそれぞれにポイントを規定し、更にそのポイント集計先を規定し、更にそのポイント集計先を 規定してポイント管理テーブルを設定するステップが更 にプログラムされ記録される請求項号に記載のコンピュ 一夕結み取り可能な記録媒体。

【請求項13】 前記ポイントは、定義される内容毎あ らかじめ設定される数値であることを特徴とする請求項 12に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項14】 前記ポイントは、設定された数値に、 更に所定の重み付け演算を行うことによって定義される 数値であることを特徴とする請求項13に記載のコンピ ュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項15】 業務に関連する情報を蓄積し、その情報を共有するクライアントサーバシステムに用いられ、 クライアントによって登録される情報を文書 DBに登録 するステップと、

あらかじめポイント管理テーブルに規定されたポイント を参照することによって登録者に該当するポイントを付 与し、ポイント獲得の都度そのポイントを累計加算する ステップと、

前記登録文書を更新するステップと、

前記登録文書に関し、活用のために検索語を入力するこ

とによって情報検索を行うステップと、

前記情報検索の結果、活用したい文書を抽出して閲覧表示するステップと、

前部閲覧表示した文書をあらかじめ定義される評価基準 に従って評価入力し、少なくともその文書の登録者に前 記ポイント管理テーブルに従うポイントを付与するステ ップと、

少なくとも前記登録情報のジャンル毎、果積ポイントの 推移をモニタして前記情報差積の接合いを照会するステ ップと、がプログラムされ記録されるコンピュータ読み 取り可能な記録媒体。

[請求項 1 6] 使用する会社の全社長を対象として基 ネアクセス権を設定し、地区や部門、役職、社員によっ であらかじめ規定されたアクセス権限に総い服金の範囲 を設定するステップが更にプログラムされ記録される請 求項 1 5 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒 休。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、特に、有用な情報 を警轄して共有するワークフローシステムに用いて好適 な、企業内情報登録活用促進システムならびに方法及び 同方法がプログラムされ記録される記録媒体に関する。 【0002】

【供来の技術】「ワークコロー管理システムは、オフィス の素和に関連さる情報を影響を大井も、その情報の流 れを管理することを目的とする。このワークフロー管理 システムを薬務が膨に合わせて用いることはよって、企 素指の流れ等の様々な業務の流れを、業務の実態に合わ せて構築・管理し、迅速な文金の記念、雑数で無から会 着しくは伝展のやリとり、管理等の婚れと、表別の文書 若しくは伝展のやリとり、管理等の婚れと、表別の文書 若しくは伝展のやリとり、管理等の婚れと、を数の作 添、返び訴訟が時光に伴う時間の過費を省くことができ る。さらに、業務の流れが便子化されたことで、業務全 体の変れ及び状態を影響を発展である。ことで、実務全 体の変れ及び状態を影響を発展できる。ことで、表

[0003] このワークフロー管理システムを用いる場合、最初に業務に進したアークフローを定義するとともに、各業會の担当をと仕事の受け渡しの原外、更比良の条件等を定義する。このワークフローの実行時にはその定額に沿って自動的に各社員のクライブント原末によってシステムが起動され、次の担当者に引き渡される。 [0004]

【発明が解決しようとする問題】ところで、上記したワ ークフローシステムに限らず、データを警視して共有 し、データの流れを管理するシステムでは、共有するデ ータを豊富に、かつ、有用なものとするために情報提供 套にポイントを付与し、インセンテブを与えることが頻 繁に行われる。

【0005】しかしながら上述した方法によれば、情報

整線の回数のみカウントし、その情報の中身については 考慮されていなかったため、データの付加価値(置み付 け)が明確になっておらず、従って、やみくもしデータ を整盤を入すればポイントが黒積され、評価され、例え (人事評価等に販売されていた。 データに対してインセンティブを与えることにはならず、 無駄なデータのみ選載されることも考えられる、未な ら企業活動に促立つ情報が登載され、活用されたときに はじめてインセンティブが与えられて初期の目的が達せ られるものである。

【0006】 本拠明止上配率情に懸みてなされたものであり、社員が情報入力する行為にポイントを加算することはもとより、後見が領策力と有情報の量や質、活用度によって更なる野都ポイントを加算することにより、インシティプや人参学師に活用できる。企業内情報登録所用配録が1回グラムされむ時される記録媒体を提供することを目的とする。文集の知識政策を審賞すると共に、情報のケヤンル、もしくは社長年、累積ポイントの世移をモニタして情報を観点をは、大・企業の知識政策を審賞すると共に、情報のケヤンル、もしくは社長年、累積ポイントの世移をモニタしていた。大きないた情報を企業の対断に変えることのできる。大・大事代報を登録の度を乗り出い、できることのできる。大・大事代報を登録が再復進シストムならびに方法支で何方式がプログラムされ影響される記録は失き提供することも目的とする。

[0007]

[課題を検決するための手限]上述した課題を解決する ために認求項1に記載の企業内情報整備活用推進方法 は、業務に開選する企業内情報を蓄積し、その情報を共 有する情報共有システムに使用される企業内情報登録活 用促進方法であって、前記情報の登録行為に対し、その 登録社員に任意のポイントを付与すると共に、前記登録 の結果生成される文書を他の者が活用したとき、前記活 用された文書の整計員に、当該別計員による管理 反映されたポイントを付与し、前記情報のジャンル、も しくは社員毎、実視ポイントの推移をモッタし可能所 機能書前の整合いを分析するとした。

収金の必及目でどかりすっことした。 「〇〇8割 また。請求項とに配数の企業内情報登録活 用促進方法は、請求項と1匹数の同方法において、前数 軽機者等の実積水イントを集計し、期間別、もしくは情 観のジャンル別に照会することとした。更に、請求項3 に配載の企業内情報登録店用促進方法は、請求項 1に配 当のポイントを付与することとした。また、請求項 4に 配載の企業内情報登録活用促進方法は、請求項 1に配 記載の企業内情報登録活用促進方法は、請求項 1に配 の同方法において、前部活用時に付きそれるポイント は、あらいじめ定義された評価基準に送い、活用社員が 事か付け設定することによって付与することとし、活用社員が

【0009】このことにより、誰か登録した情報を利用 するときに評価できる仕組みが構築され、情報の共有、 活用を促進するために情報を登録する場合は勿論のこと、 使用機が原用されることによってもポイントが発し、 他別名、 あるいは全社単位で無計され、 誰がどんな情報を登録し、その情報が誰によって活用されているか、 あるいは情報の警報の程度をピジュアルに再項できる。 従って、社員に適正なインセンティブを与えることができ、また、人事評価への反映も可能となる。

[0010] 繋収填5に配収の企業内情報登録活用促進 システムは、素落に関連する情報を書積してデータペー 水化し、その情報を共有するサーパクライアントシステ ムにおいて、前配サーパは、前配クライアントとよる情 級の登録行為にも、その登録者に任盛のポイントを付 与する第1のポイント付与平段と、前記登録の結果生成 された文本を他のクライアントが活用したとき、前配活 日された文書の整合官に、当該工用者はよる評価が反映 されたポイントを付与する第2のポイント付与平段と、 前記情報のジャンルもしくはクライアント係、異模ポイ ントを指導する第2のポイントでは要けない。 「他の対象が大力を行動する数でのボイント付与平段と、 前記情報のジャンルもしくはクライアント係。異様ポイ ントを指導するであるととして前記情報書類の度含いを分析 し、要求のあったクライアントに提供するポイント情報 提供手段と本権で収載った。

[0011]また、請求項をに記載の金集の情報登録活 用促進システムは、請求項をに記載の回りステムにおい 、前窓第、3を2のポイント付与平原は、あらかじ め、分類等に内容を定義したそれぞれにポイントを規定 し、更にそのポイント集計をを規定したポイント管理テ 一プルを持つこととした。

[00 12] 上陸構成により、社員が情報人力する行為 にポイントを加算することはもとより、社員が提供する 情報の量や質、海用度によって更な5階価ポイントを加 算することで、適正なインセンティブを与え、個人情報 を動計することで、事間での事できる。また、企業の 知識資産を当時すると共に、情報のジャンル、もしくは 社員等、累積ポイントの性格をモニタレで情報要等の 会いを分析することにより、個々の情報影略に対するモ チベーションの向上がはかれ、個人のノウハウとされて いた情報を企業の規則に変えることができる。

[0013] 前末項 7に空戦の企業内情報登録活用促進 システムは、請求項 5に配載の同システムにおいて、前 窓 2のポイント付与手段により活用社員による評価が 反映されたポイントが付きれる態度更新され、閲覧要 求があったときにその活用原理を公請する活用原歴デー タペースを構えて成ることとした。

[0014] 上記構成により、文書の活用履歴を閲覧することで自身で登録した文書が会社として役立っているか否かを確認でき、他の社員による閲覧頻度が高いほど有用な知識情報として警費されることになる。

[0015]請求項8に記載の企業内情報登録活用促進 システムは、請求項5に記載の両システムにおいて、前 記サーバは、ジャンルもしくはのライアントをキーとし て集計先、獲得ポイントをデータとして持ち、閲覧要求 のあったクライアントに提供するポイント累計データベ 一スを持つこととした。

[0016] このことにより、ポイントは個人物に集計され、誰がどんな情報をよく活用しているかがわかる仕 組みとなっている。また、会社として発生したポートについては、一覧で確認でき、このように視覚的に判断することで会社として、何についての情報共有ができていないか判断が可能となり、今後会社としてやるべきことが明報になる。

[0018] このことにより、誰か登録したものを利用 するときに評価ができる化組みが開窓され、文書の活用 歴程を参照することで、自分で登録した文書が図立っ ているか否かを確認できる。このように、登録されてい る文章を活用することで利用する人にとっては該悪労地 向したにつながり、また、文章を製化した人にとっては きちんとした評価がなされる仕組みが用意される。この ことにより、金素内に存在するナレッジの共有ができ、 企業としての様かを発揮的にあることができる。

[0019] 鉄東県10[四歳の記録域株は、請求項9 に記載の同域体において、前記評価人力した活用者にも ポイントを付与し、このポイント獲得の都度加重してポ イントを果積するステップが質にプログラムさ札配録さ れることとした。更に、請求項11[記載の記録域 は、請求項9[記載の同媒体において、前記評価人力の 都底活用履歴データペースを更新し、閲覧要求があった ときにでの活用履歴を公削するステップが更にプログラ ムネれ記録されることとした。

[0020] また、請求項12に配数の記録媒体は、請 求項9に記載の間媒体において、あらかじめ、分類毎内 容を距離したそれぞれにポイントを想定し、更にそのポ イント集計先を規定してポイント管理テーブルを設定す るステップが更にプログラムも加設者れることした。 更に、請求項13に記載の記録媒体は、請求項12 に記載の回媒体において、割記ポイントは、定義される 内容易あらかしめ設定される数値であることとした。 【0021】このことにより、社員が情報人力する行為にポイントを加算することはもとより、社員が提供する情報の量や質、汚用底によって更なる評価ポイントを加算することにより、インセンティブや入事時価に用する。また、企業の知識理を整備すると共に、情報のジャンル、もしくは社員係、累積ポイントの推移をモニタして情報整備の配合いを分析することにより、傷々のウハウときれていた情報を企業の知識に変えることができま

【0022】請求項14に配載の配録媒体は、請求項1 3に記載の同媒体において、前記ポイントは、設定され た設値に、更に所定の重み付け演算を行うことによって 定義される数値であることとした。

【0023】このことにより、社員が提供する情報の質や量の他に、活用度によっても評価ポイントが加算され、インセンティブや人事評価への活用が可能となる。

【0024】請求項15に記載の記録媒体は、業務に関 連する情報を蓄積し、その情報を共有するクライアント サーバシステムに用いられ、クライアントによって登録 される情報を文書DBに登録するステップと、あらかじ めポイント管理テーブルに規定されたポイントを参照す ることによって登録者に該当するポイントを付与し、ポ イント獲得の都度そのポイントを累計加算するステップ と、前記登録文書を更新するステップと、前記登録文書 に関し、活用のために検索語を入力することによって情 報検索を行うステップと、前記情報検索の結果、活用し たい文書を抽出して閲覧表示するステップと、前記閲覧 表示した文書をあらかじめ定義される評価基準に従って 評価入力し、少なくともその文書の登録者に前記ポイン ト管理テーブルに従うポイントを付与するステップと、 少なくとも前記登録情報のジャンル毎、累積ポイントの 推移をモニタして前記情報蓄積の度合いを照会するステ ップとがプログラムされ記録されることした。

[0025] このことにより、個々の情報拠略化に対するモチベーションが向上し、顕客情報のみならず、句の話題や顕客ニーズ、クレール情報、楽務概告等経営者の知りたいアケログ情報の蓄積を推進し、今まで個人ノウハウとされていた情報を企業の有用な知識情報に変えることができる。

【0026]請求項16に配数の記録媒体は、請求項1 方に記載の同媒体において、使用する会社の全社員を対 象として基本アクセス権を設定し、地区や部門、役職、 社員によってあらかじめ想定されたアクセス権限に従い 服会の範囲を設定するステップが更にプログラムされ起 録されることとした。

【0027】このことにより、少なくとも役職、部門、 社員毎にアクセス権限の範囲が設定され、その範囲内で のセキュリティが確保できる。

[0028]

【発明の実施の形態】図1は本発明におけるシステム構 成を示した図である。図1において、10、20はそれ ぞれクライアント・サーバシステムを示す。クライアン ト・サーバシステム10において、1はサーバ、2、 3、4及び5はそれぞれクライアントを示す。クライア ントサーバシステム10において、サーバ1及びクライ アント2からクライアント5の各端末を通信回線30で 結ぶことによりLAN (Local Area Network) が構築 される。同様に、クライアントサーパシステム20にお いて、1aはサーバ、2a、3a及び4aはそれぞれク ライアントを示し、30aはLAN等の通信回線を示 す。サーバ1a及びクライアント2aからクライアント 4 a の各端末を通信回線30 a で結ぶことによりLAN が構築されている。ここでは、クライアントサーバ10 を本社、クライアントサーバ20を遠隔地の支社に設置 することを想定している。

【OO 29】 4 Oは公衆原設網を示し、公衆園網網 4 O は、遠値事業者が提供する交換接點型の加入電話網、パケット交換網、著しくは 18 D N (Integrated Serviceの目では18 Metwork)等の電気通信回線である。 ウライアントサーバシステム 10 及び 20 は、ルータ ぎしくは ブルータ等の L A N同士を相互に接続するための秘霊と公衆解 4 O とを介して接続されている。ことができる。とにより、遠隔地からの処理要求にも分がすることができる。また、公衆網 4 O をインターネットに登録表で表しては、公衆網 4 O をインターネットを併用するというような実施形態とすることもできる。

[0030] サーバコンビュータ 1 は本社のサーバを示し、サーバコンビュータ 1 は本社で管理するデータベース (以下、「DB」ともいう)であるDB50を有する。なお、本実施形態においてこのDB50の枯齢場所は、サーバ1の環末の配換板置とでも上でいるが、別サーバの配検板置とでも差しまえない。

【0031】図2は、図1に示すサーバコンピュータ1 (1a) の内熱味及を示すブロック図である。サーバコンピュータ1 (1a) は、CPU11を制即中枢として、主記憶装置 12、ハ・ドディスク装置 (HDD) 1 3、入功装置 14、表示接電 15、LANコントローラ(モデム) 16がシステムバス17に共通接続される。[0032] 主間接差 12に108(基本ソフトウェア)として、米間マイクロソフト社のWindowsNT121が使用され、グラフィックユーザインタフェース(GUI) 12に、ワークフローエンジン12、レッジポイントエンジン124が割り付けられ記憶され

[0033] ワークフローエンジン123は、業務に満 したワークフローを定義するとともに、各業務の担当者 と仕事の受け渡しの順序、受け渡しの条件等を定義し、 ワークフローの実行時にはその定義に沿って自動的に各 社員のクライアント端末によってシステムが起動され、 次の担当者に引き渡されるものであり、本発卵委首とは 直接関係しないためこれ以上の説明は要しない。ナレッ ジボイントエンシ124は、本発明の全東内特定 活用促進方法を実現するためのプログラムであり、後に フローチャート及び表示画面を参照しながら詳細に説明 する。125は、上記各プログラムによって使用される ワーク環域である。

[0035] 図3において、(a) として赤す付与ボイ 小管理D8 (1321) は、12 とりは、大切、 が開業のでは、大力を表して、 構成される。大分類、小分類の各フィールドには、登集 変者の程類に応じて定義される分類思うが、内容のフィールドには、例えば、掲示版への新規段族、類常情報と してのも別登録等、ポフトと管理のとめの逆定者で書き き込まれる。また、付与ボイントのフィールドには、重 み付けとして多えるボイント値、ここでは5段談評価の ための数値が設定され、無計失のフィールドには、キャ ピネットとして結論される素計ファイルの軽額が響き込 まれる。

[0038] 一方、(b) として示す 主員別ポイント累計DB (1322) は、1エントリが、社員署今、年 引、集計会、獲得累計ポイントから成る、または、社員 署号、年、集計会、獲得累計ポイントから成る、あるい は社員署号、集計会、獲得累計ポイントからの各フィールド から成る30の移態が用意される。更に、(c) として 示す会社ナレッジポイント累計DB (1323) は、1 エントリが、ジャンル、年月、現在ポイント累計

[0037] 規則を図とに限す。入力機能14として、 キーボード、マウスが、表示装置15として、例えば高 精細接通モニタが用意され。これら入出力装置ではUI 装置を構成する。主配信装置12に割り付けられたGU I(122)と協同して図10~図17に示す表示入入 加コントローラ16は、公衆回線40もしくはインターネット経由で接続されるクライアントとの遺電を行う遺信制 がボードである。

【0038】図4は、図1に示すクライアントコンピュータ2~5 (2a~5a)の内部構成を示すブロック図である。

【0039】クライアントコンピュータ2~5 (2a~

5 a) は、CPU21を制御中枢として、主記憶装置2 2、ハードディスク装置(HDD)23、入力装置2 4、表示装置25、LANコントローラ(モデム)26 がシステムパス27に共通接続される。

【0040】主記憶装置22にはOS(基本ソフトウェ ア)として、米国マイクロソフト社のWindows 9 8 (221) が使用され、少なくともブラウザ222が 割り付けられ記憶される。主記憶装置22にはブラウザ 222によって使用されるワーク領域223も割り付け られる。ローカルディスク23には、上述したサーバコ ンピュータ1 (1 a) から送られる情報の一部写しを格 納したり、ブラウザ222を介して外部をアクセスした ときのキャッシュデータが格納される。また、入力装置 24として、キーボード、マウスが、表示装置25とし て例えば液晶モニタが用意され、これら入出力装置でG UI装置を構成する。主記憶装置12に用意されるOS (図示せぬドライパソフトウェア) 221と協同して図 10~図17に示す表示入力画面を生成し、また、入出 力処理を実行する。LANコントローラ26は、公衆回 線40もしくはインターネット経由で接続されるサーバ コンピュータ 1 (1 a)との通信を行う通信制御ボード である。

【0041】図5は、本発明実施形態の動作を説明する ために引用した図であり、全体の概略動作の流れを示す フローチャートである。

【0042】以下、図5に示すフローテャートを参照しながら図1万至図4に示す・本発明実施活動の根熱影性のいて説明する。まず、31負の一人がクライアン・ジュータと~5(2a~5a)を掛作して情報登録を行う(ステップ851)。情報登録項目として、商誌入力、素券報告書入力、文書登録、提示なへの投資等、業活動に作う種々の情報登録が考えられる。このことにより、サーバ1にあるナレッジポイントエンジン124が起路され、その情報登録は真に対してポイントが加算され(ステップ552)、ポイント管理DB132に割り付けられてある社員別ポイント第10日132に割り付けられてある社員別ポイント第10日132に割り付けられてある社員別ポイント第10日132に割り付けられてある社員別ポイント第10日132に引きまた。同時に大書管理日B(131)も更新する(ステップ553)。

【0043】次に、他の社県により、情報登録の際に参 者とすべき蓄積文書の検索が行われたとする(ステップ ち54)。ここでその活用社員によって検索文金の詳細 が表示され、あらかじめ交離された評価基準に従って野 個人力がなされる(ステップs 55) 。その社員によっ て評価された内容は、ナレッジポイントエンジン124 によって取り込まれ、その検索文書の登録者及び評価人 力した活用者にポイントが付きされる(ステップs 5 6) 。もちろん、該当社員名、ポイントが付きされる部 定加算され、その社員の課限ポイントがアップする毎に 社員與累計18日(1322)が関係される。に、文書 活用履歴DB(1324)の内容も更新され、後に公開 される。

【0044】図6乃至図9は、本発明実施形態の動作を 詳細に説明するために引用した図であり、更に詳しく は、サーパコンピュータ 1 (1 a) に実装されるナレッ ジポイントエンジン124による、ポイント管理の設 定、文書評価ランクの登録、情報活用、ポイント照会時 におけるそれぞれのプログラム処理手頭がフローチャー トで示されている。また、図10は、本発明における企 業内情報登録活用促進シテスムのログイン後の初期画面 構成を示す図、更に、図11乃至図17は、ナレッジボ イントエンジン124によって生成される、ポイント管 理の設定圏面、区分の登録画面、文書情報の検索画面、 文書詳細画面、文書の活用履歴画面、ポイントランキン グ照会画面、会社のナレッジ度照会画面のそれぞれを示 す図である。

【0045】以下、図6乃至図17を参照しながら図1 乃至図4に示す本発明実施形態の動作について詳細に説 明する。

【0046】社員がクライアントコンピュータ2~5 (2a~5a) を操作することにより、図10に示す画 面が表示される。ここでは豊富なGUI機能が借わって おり、掲示板、メール、スケジュール、アシストメッセ ージを示す各ウインドウを切り替えることによって自由 にアクセスし、社内の蓄稽情報を参照ならびに更新する ことができる。画面右にはポイントランキング照会釦が 割付けられており、ここをクリックすることで後述する ポイントランキングの照会画面を見ることができる。

【0047】まず、本システム稼働前における保守のた めの操作から説明する。図11にポイント管理設定画面 が示され、図6にポイント管理設定のための処理手順が 示されている。最初にシステムに対する登録行為、文書 活用のそれぞれに対して何ポイント与えるか、重み付け を規定しておく必要がある。そのため、ここでは、情報 登録行為をあらかじめ分類し、それぞれに対してポイン トを設定し定義してある。すなわち、掲示板、フォーラ ムへの新規投稿、顧客情報の登録行為に対してポイント 1、評価ランクAの活用文書に対してはポイント5とし てそれぞれ定義してある。この定義ファイルは、重み付 けテーブルとして、付与ポイント管理DB(1321) に格納される。

【0048】従って、ユーザは、コード体系を社内に蓄 積される登録文書に従ってあらかじめ設計し、図11に 示すポイント管理の設定画面を使用して、大分類(小分 類) コード、内容、付与すべきポイント値、集計先をあ らかじめ設定入力し(ステップS61~S64)、付与 ポイント管理DB(1321)に重み付けテーブルを作 成しておく必要がある。

【0049】図12は区分登録(文書評価ランク)画面 であり、図フにその処理手順が示されている。この画面 により登録文書の評価ランクが規定される。ここでは一 実施形態として、文書が役に立つか否かでA~Eの5段 階評価が定義されている。従って、ユーザは、この画面 を使用して、区分番号 (A~E) 、名称(役に立つか否 か)、数値(ポイント)をあらかじめ設定入力し(ステ ップS71~S73)、評価ランクテーブルを作成(ス テップS74) しておく必要がある。本発明実施形態で は、単に5段階評価としたが、このことに制限されず、 単に役立つか否かでなく、更に他の評価ファクタを加味 してマトリマス評価としたり、あるいは演算式による評 価等多々考えられる。また、評価入力で付与されるポイ ントは、後述するポイント管理設定で行われ、区分の登 録では評価ランクを設定するのみとする。

【0050】以上の準備を行ってはじめて企業内情報登 録活用促進システムとして運用させることができる。図 8にその処理手順が、図13~図15にその処理画面が 示されている。蓄積された文書を利用しようとする社員 は、まず、文書管理DB(131)をアクセスして情報 検索を行なう(ステップS81)。この文書情報検索の 結果生成される画面が図13に示されている。ここで は、期間指定を行なうことにより、登録文書、商談情報 の中から検索した、14件の文書が抽出されている(ス テップS82)。次に、その社員は、検索順而にあるタ イトルならびに概要を参考に、活用したい文書を選択 し、そのタイトルをクリックすることにより、その詳細 文書がダウンロードされ表示される (ステップS8

3) 。その結果生成される文書の詳細適面は、図14に 示されている。

【0051】ユーザがこの詳細文書を閲覧することによ り先の評価基準に従う評価入力を行う(ステップS8 6)。すなわち、役に立ちそうであれば評価Aを、ある 程度使えれば評価Bを、参考になれば評価Cを、部分的 に使えそうであれば評価Dを、見ただけで全く参考にな らなければ評価日を設定入力する。このことにより、ナ レッジポイントエンジン124は、あらかじめ規定され たポイント値に変換してポイント管理DB(132)を 更新し、登録社員に対するポイント、ならびに会社ナレ ッジポイントをアップさせる。

【0052】なお、ステップS84の処理で、他の文書 が見たければ一旦閉じてステップS82以降の処理に戻 る。また、この文書の活用履歴を見たければ、画面左上 に割り付けられた活用履歴釦をクリックすることによ り、図15に示す活用履歴画面を表示することができる (ステップS85)。活用履歴画面においては、該当文 書が過去に検索され評価入力された履歴が表示され、ユ 一ザは、これを参考に評価入力することもできる。この 活用履歴を表示するためにはポイント管理DB (13 2) に割り付けられる活用履歴DB(1324) が参照

【0053】図9にポイント照会のための処理手順を、

図16、図17にポイントランキング類金額面が示されている。ポイント照金を行うにあたります。アクエス権のテェックが行われる。ここでは、該当する会社の金社員を対象として基・アクセス権を設定することにより内部でのセキュリティ効果を持たせることもできる。 [0084] 個人のポイントランキングが図16に余されている。上半分に住員別ポイントがシャンル別に表示されている。また、ジャンル件の会社のナンジを図17に示されている。ここに表示される内容は、図25年で、アイント管理DB(32)に割り付けられ格納される社長期ポイント所に表する。 ※対・アンド電の全日のでは、図5年で、アイント管理DB(1323)に割り付けられ格納される社長別ポイント管理DB(1323)に割り付けられ格納される社長別ポイント第10B(1323)に結めされた名人の環境累計ポイントDB(1323)に結約された名人の環境累計ポイントに基づく。

【0055】上述したポイントは個人毎に集計され、誰 がざんが情報をよく活用しているかがわかる仕組みとな っている。また。会社として発生したポイントについ は、一覧で認むでき、このように視覚的に判断すること で、会社として何についての情報共有ができていないか の判断が可能となり、このことにより、今後、会社とし て注力すべき事項が明確になる。

[0066] なお、上述した金集内情報登録活用促進システムの処理をコンピュータに乗行させるためのプログラム、すなわち、ナレッジポイントエンジン124は、CD—ROM、MO、DVD—ROM等の配理媒体に関係されて記れるが、または、インターネットでのダウンロードにより配布され、サーバにインストールされ使用される。

【0057】このプログラムファイルが起動されること により情報登録活用に基づくポイント処理が可能とな る。なお、本実施形態においては、図1のクライアント ・サーパシステム10のサーバ1の端末にインストール されている。また、上述した本実施形態では、文書をH TML (hypertext markup language)形式にて作成し ているので、申請文書内容データ中の命令データは、 「く」と「>」で挟まれた予約語であるタグに相当する。命 令データが規定する表示形式にて表示する表示手段とし てはブラウザを用いている。また、HTMLとは、WW W (world wide web) で使用されているホームページ を公正する文書を記述するためのプログラム言語であ る。一方、ブラウザとは、インターネットのホームペー ジ等を眺めるためのソフトウェアであり、このブラウザ のHTMLのタグで規定された表示形式にて表示すると いう機能は公知技術である。なお、本実施例の形態で は、HTML形式にて申請文書を作成しているが、本発 明はこれに限定するものではなく、XML (extensible markup (anguage) 形式、SGML (standard gene ralized markup language) 形式等により申請文書を 作成することもできる。

[OOS8] ブラウザとしては、マイクロソフト社のII nternat Exploreri 及びネットスケープコミュニケーションズ社の Metscape Navigatori 等が知られている。 さらに、ブラウザにはあらゆるコンピュータとネットフ つ/において10タ/IPによって観光可能にするで観光の表した う機能、及びネットワークコンピュータの処理能力を利 用することを可能とする機能を有し、ブラウザを差別し ることでこれらの機能も利用することが可能となる。

3 (ロ () 1 後ので、木炭焦粉壁においては、ブラウザ が表示年段として、図 1 に赤す各クライアント端末及び サーバ場末に予め投行可能な対象で用意され、HM 形式にで作成された申請文庫情報の申請文書内容データ をブラウザに出力させることにより、文書情報の内容を 容易に表示させることができる。さらに、企業内情報登 線活用程度システムにおける画面表示を全てブラウザブ ラヴナで、大阪では、大阪で作成された 情報の画面表示及びネットワークにおける端末間の処理 等を唱易に実行さることができる。

[0060]

【受明の効果】以上説明のように本発明によれば、情報 の共有、温用を促進するために、情報を登録したり、情 報が活用されることはってでポイントが発生するポイント ト管理機能を持たせることができ、このポイントは程人 毎に無計され、値がどんな情報をよく深用しているかが わかる性組みとなっている。また、会社として発生した ポイントについては、一覧で超越でき、このように現覧 的に判断することで会社として、何についての情報共有 ができていないか判断が可能となり、今後会社としてや るべきことが開発になる。

【0061】また、鎌か豊穣したものを利用するときに 評価ができる仕組みが用途され、大事の活用限度を参加 することで、自りや登泉した大事が内に立っているかき かを確認できる。このように、豊穣されている文章を活 用することで利用する人にやっては業務効率の向いて ながり、また、大書を登録した人にとってはきちんとし た評価がなされる仕組みが用意される。このことによ り、金集内に存在するナレッジの共有ができ、企業とし ての競争力を飛躍的に高めることができる。 【図画の極単を説明】

【図1】本発明における企業内情報登録活用促進システムの実施形態を示すブロック図である。

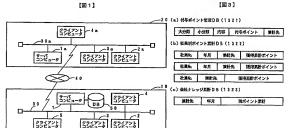
【図2】図1に示すサーバコンピュータの内部構成を示すプロック図である。

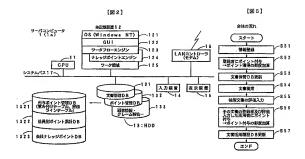
【図3】図2に示すポイント管理DBのデータ構造を示す図である。

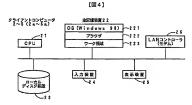
【図4】図1に示すクライアントコンピュータの内部構成を示すブロック図である。

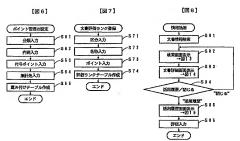
【図5】本発明実施形態における全体の流れをフローチャートで示した図である。

```
【図 6】 ポイント管理の設定を行うための処理手順をフ
                               10 (20)
                                         クライアントサーバシステム
ローチャートで示した図である。
                               11 (21)
                                         CPU
【図7】文書評価ランクの設定を行うための処理手頭を
                               12 (22)
                                         主記憶装置
                                         ハードディスク装置
フローチャートで示した図である。
                               13
【図8】情報を活用する場合の動作手順をフローチャー
                               14 (24)
                                         入力装置
                               15 (25)
                                         表示装置
トで示した図である。
                                         LANコントローラ
【図9】ポイントランキング照会を行う場合の動作手順
                               16 (26)
                                         システムパス
をフローチャートで示した図である。
                               17 (27)
【図10】本発明実施形態におけるログイン画面の構成
                                         ローカルディスク装置
                               23
                               121 (221)
を示す図である。
                                         GUI
【図11】ポイント管理設定画面の画面構成を示す図で
                               122
ある。
                               123
                                         ワークフローエンジン
【図12】文書評価ランク設定画面の画面構成を示す図
                               124
                                         ナレッジポイントエンジン
である。
                               125
                                         ワーク領域
【図13】検索画面の画面構成を示す図である。
                               131
                                         文書管理DB
【図14】詳細文書画面の画面構成を示す図である。
                               132
                                         ポイント管理DB
                                         各種ファイル類
【図15】活用履歴画面の画面構成を示す図である。
                               133
【図16】個人別ポイントランキングの照会画面を示す
                               222
                                         ブラウザ
図である。
                               30
                                         LAN回線
【図17】会社別ポイントランキングの照会画面を示す
                               40
                                         公衆回線網
                                         付与ポイント管理DB
図である。
                               1321
                               1322
                                         社員別ポイント累計DB
【符号の説明】
          サーバコンピュータ
                               1323
                                         会社ナレッジポイントDB
                                         活用履際DB
2 (3、4、5) クライアントコンピュータ
                               1324
```

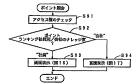












[図10]

RTS STATE	# 90 9 td	今日の予定
Read Switte	10/10 大一人女一八年上刊7 石井 KA	9 2 6 7 2
Printer and the second	別/24 東連システム製作用の資知 山田 太郎	10:00-12:00 A Management and
第一次种国际	09/22 新人事研究権人について 三谷 太照	14:00-15:00 数是企業打会收
din en	01/14 交流安全運動の英族について 存本 次級	E SERVICE P.
ACCES NOT S	01/10 <u>サーバ保守点株のお知らせ</u> 川野 ホニ	04:00-17:00 #12EMEZAZ
DIN LINE		10月 3日開稿 企業資料作成 選班 実験
26 (* E.)	x - n	アシストメッセージ
100	127	■21-451世帯出しています。
SEC SEC.	来遊の作業予定について <u>流野 実</u> 担 Ro: 総内資料送付の件 原知 正人	・ というないできなります。 ・ とはないのなが、日本リます。 ・ とは、 になった。
(6-54-)0-614	454_45	OZOG ZARDZERUSE.
的数据 字		会社を計画シートを作成し記述して下さい。
0.7		

【図11】

日 17 日 日 17 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	Ė	m Makan n Makan n pa-os n maka n maka d maka	.en.		
中の7 年代は、0年年2日 中の7 ファールへの単位を指 中の8 本の3年のの単位とは の8 日本3年のの単位とは の8 日本3年のの単位とは の8 日本3年のの単位とは の8 日本3年のの単位とは の8 日本3年のの単位とは の8 日本3年のの単位とは の8 日本3年のの第一位と の8 日本3年のの8 日本3	-	n itsum n od-od n konns d brita d werd	.en.		
1000 74 - 54 - 64 650	Ė	11 74-94 15 HEAR 10 HEAR 10 HEAR 10 HEAR	.en.		
	F	n nonne 40 meta 40 meta			
OO BETHOENDERTED OO BETHOENDERTED OO BETHOENDERTED	\vdash	ed Medical Communication	211		
OU HECHOEMMENTS (NAME)	1	4) 糖素素品	7		- 11
OUR MENDAGORNATURA (MEG)					
	21		-		- 11
		49 概念本品	_		- 11
		es mayan			- 11
ON MERKENBARRED		40 100 24	7		- 1 1
年度会別大阪会議の発行条理 2009		40 MT24			- 1 1
ON BEST PRODU		HPCH O			- 1 (
文章を任用した時 (野谷A)		milax es	_		- 11
文献和深限した時 (評価本)		M XBXD			- 11
大学を窓用した時(竹組で)		N XEER OF			17
					11
Will I					
300					- 1
					- 1
					- 1
(*)					- 1
	005 旅店物店の組織を入口を登録 000 旅店がおけれたのたが 人 文章を応用したが(伊森人) 人 文章を応用したが(伊森人) 人 文章を応用したが(伊森人) 人 文章を応用したが(伊森人)	DIA BERNOLANATIONS DIA TERMINOLANA DIA TERMINO	00 ERFORMACIÓN DE ESTATO 00 ERFORMACIÓN DE ESTATO 1 ZEROSILLOS GIGAS 1 ZEROSILLOS GIGAS 1 ZEROSILLOS GIGAS 2 ZEROSILLOS 3 ZEROSILLOS 4	00 BERTHELMBATTERS 0 REPH DESCRIPTIONS 0 REPH JERGELLAN (MAL) 19 ZERS ZERGELLAN (MAL) 19 ZERS	08

[図12]

PAPARE	-	39obe			1870	7 83	MIT.	美化市市		(SSEED 4	
の記分の独身 ロレステム関係の設定	#		kenesys v pit	ans.		v					
entions entiretons		· P									
PG-1-0229	П	Kass	4.6	naı	891	Bar)	221	X#2	1201	**	
ロールの製造	0		大阪を大立ちそう [野会人]	1	1		-	-	-	62E - 866*28:	
メニューの世間	0	В	おる程度を入るから [別回日]	1			_			京更・1990年	
	0	·	中年になりそうだ [DKはじ]	1	_		$\overline{}$			80E - 108706	
カレンゲーの登録	0	D	部分的だが使えそうだ [許年0]	1						NX - HOPE	
共選番号の登録 ライセンスチェック表 の信息	0	Ε	見た犬け [神仙日]		1	_	_			東海・別様点面	
Bearings I											
	H		0								
	#	2785	大曜年間ランク 会社名 会社	273							

[図13]

10条紙 に対象の報告 大型情報の報告 200年での文字の 変数性態の収金・ 1009年で 1109年で 1109年で	4-9-F	SELVADOS OSIVADAS	7	ENTERNATION OF THE PARTY NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PARTY NAMED IN COLUMN TO THE PARTY NAMED IN COL	(8)		Œ
d opener	2115		Beat	34128	****	1100	1
250M	71179		第2日世		XHER	District	ı,
Br. Adolasis	TOWN CHANGE	METSULANDE DI CAPAL ME UTBLUGERENE	2000/01/15	ナレッジボータルジャ	200 次章	Just 247	П
	LEMME	Microforce total a masse two Law employers.	2800/95/25	ナレッジボーラ <u>ル</u> ジャ	62HH	MY MIL	
	Mere		2000/10/24	POWER EGGY	カタスを	NH 10	
	PRESENTE SERVICE	ナレッジワーキングでの発析です。必要 他において収拾かと問います。	2000/31/24	POWER EGGV	200.2 a	批上車	
	Bushe	THORETER .	2001/31/16		bace	87 ME	
	REMEMBERS #5. IS	MARKET COLUMN	5000/01/16	ナレッジホーテルジャ	登録文金	新L PA	
	FORCE ESCAPE			ナットロエア株式会社	B#40	Mil. Ma	
	グ・沙米等 入	MARY TOPPOST Y-MA	300/6/16	工芸術工作式会社 ザ・発数Vor. 1	PR/MR	MH. AM	Ì
	41			V'RECEDT. 1			4

【図14】



【図15】

STREET,	は物料	利均量	PAG	2年3メント		
	2000/01/24	新川 事次	В	ちょっと知てしたが、名気はよかった。	_	
	2000/01/24	BT No	A	Suggett.	_	
			**	16)		
WEEKE A	into Inc	iA)	*>+	Ä		
REEL OF LEVEL OF LAND AND ADDRESS OF LAND ADDR	Rape DE Ray Ses	(A) (E)	*>+	X V		
**************************************	スなから DF そうだ [祭稿 そうだ [祭稿	(A) (E)	***	X V		

[図16]

Bett	FISSE.	ントランキ				T ME	製造成的変数	(Marie 1997)
OK-THEOMS	202	O REG	100001 T	STATE OF STREET	Basen C			
●文書情報の協定		Ожиб	200	Sus pay	day makes	Fee 7 er		
ロ 名とのピング大会の		0 EH		-				
	勒拉	356	#125	SAbe				
STREETS.	Tit	300 EQ	160	828				
の特殊リケーチ	1	中村 差	196	KRIKBO				
さんとトランキング	1.31	RF WIL		TEXASSES.				
		BR 8		EPR	_			
Lys Entior	1 5	AH AM		ESH	_			
and said	1 6 1	新川 事久		IXXH	_			
ECHERCO AND	7	HIN MY	1866	アクニカルフル	-1-25			
	11	RIS EN		艾奈里亚纳				
	1	批土量	114	アクニカルサボ	-16			
	18 1	C0 00	120	SER				
	111	光线 铁条		HEE	_			
	18 1	** 72	1217	E 82016-15				
	teta	- BUR 100	STEPPER :	NT NE 1400				
	_	1 RM		クレーム教室		1		
	ポイン		16	**	125	ł		
		ma-	198	プロジェクトロロ	Acures	ł		i
	ポイン		= 1	19	27	ł		
	_	28-5	6.000	****	2008	1		
	ポイン	1 14		123	121	1		
	_	188	ring 1	tott		i		
	ポイン	1 1	u T	131	1	1		

【図17】

PERSONA PERSONA PERSONA	HARLOOMS RM GEAR LR: IARDO	012	'nЯ				E #8	BEI PHE	
ロ 名グッピング気象の	2424	1000.00	Total Con	Taratta	CLES	12140	DWCVE	現ポイントまか	
	No. in contract of the last of	10	100	999/10	116	117	105 500-04	現ポイントエリト	
EXCEPTIONS -	DOMEST	Hack	1516	Ini	197	tim	1575	1541	
に関リサーチ	2 b488	114	25	11		110	192		
またろとランキング	00-200	1005	1005	1190	1705	119	1904	163	
huspatto+	世間・ニーズを申	132	125	18	186	- 81	76		
C99#	OC AND	1006	11725	1211	1378	1425	15.65	101	
Charles .	32305e	87	124	63	139	105	19		
		1106	1155	1211	1400	1533	Tres	1303	
	プロジェクト特優	135	-	144	704	133	102	1624	
		1000	109	126	1368	1425	1506	1844	
	MARKET .	197	32	121	DR	124	214	1512	
		1006	725	1225	1235	TAITS	1606	1012	
	フォーラムを位	130	121	182	86	141	122	1525	
		167	115	144	5345	1505	1925	****	
	文集技術	2006	110	98	1961	105	124	1261	
	±ed)t	17	116	111	177	154	1623		
	XMOS	1005	114	1271	1625	1604	1758	16TE	
	BEGG	N	174		111	120	152		
	mental .	1005	116	1258	1221	1975	176	1314	
	₹p#	129	25	100	110	8	24		
		1005	100%	1224	1315	1416	15%	1624	
	22	121	1150	1111	1250	1235	1356		
		1001	1116	1225	1338	143	152%	16241	

フロントページの統合

Fターム(参考) 5B049 AA05 CC21 DD01 DD05 EE02

EE03 EE05 FF04 FF09 8804

GG07 5B075 KK07 KK13 KK33 KK37 MM11

ND03 ND20 ND23 NK10 NK13

NK24 NK54 NR02 NR12 PP02

PP12 PP22 PQ02 PQ20 PQ46

PR03 UU05 UU40